



2023年8月10日

各 位

会社名 株式会社 タダノ  
代表者名 代表取締役社長 氏家 俊明  
(コード番号6395 東証プライム市場)  
お問い合わせ先 執行役員 吉田 耕三  
(TEL 087-839-5601)

## 第2四半期累計連結業績予想と実績値の差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2023年2月14日公表の「2023年12月期第2四半期（累計）連結業績予想」と本日公表の実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。また、同じく2023年2月14日公表の「2023年12月期通期連結業績予想」を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### ①差異の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 135,000	百万円 6,000	百万円 5,200	百万円 2,500	円 銭 19.71
今回実績 (B)	133,267	8,797	7,820	3,250	25.62
増減額 (B - A)	△1,733	2,797	2,620	750	
増減率 (%)	△1.3%	46.6%	50.4%	30.0%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	131,310	4,440	4,201	1,978	15.60

※2022年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、経過期間となる2022年12月期第2四半期累計期間は、当社並びに3月決算であった連結対象会社は2022年4月1日から2022年9月30日の6か月間を、12月決算であった連結対象会社は2022年1月1日から2022年9月30日の9か月間を連結対象期間とする変則的な決算となっております。

#### ②差異の理由

日本向け売上高は、堅調に推移しましたが、海外向け売上高は、物流環境等の影響や欧州における調達難による生産制約もあり、前回予想を若干下回りました。利益面では、為替の影響や経費節減等により営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を上回りました。

## 2. 通期連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

### ①修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 270,000	百万円 12,000	百万円 10,500	百万円 5,000	円 銭 39.42
今回発表予想 (B)	275,000	15,000	13,000	5,500	43.34
増減額 (B - A)	5,000	3,000	2,500	500	
増減率 (%)	1.9%	25.0%	23.8%	10.0%	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	192,932	7,191	6,540	2,210	17.43

※2022年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、経過期間となる2022年12月期は、当社並びに3月決算であった連結対象会社は2022年4月1日から2022年12月31日の9か月間を、12月決算であった連結対象会社は2022年1月1日から2022年12月31日の12か月間を連結対象期間とする変則的な決算となっております。

### ②修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期連結業績の見直しを行ったところ、売上高は前回予想を上回り、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を上回る見込みとなりましたので、2023年2月14日発表の2023年12月期通期連結業績予想を変更することとしました。なお、7月以降の前提レートは、135円/ドル・155円/ユーロとしております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上